

いなわしろ

# 議会だより

平成21年2月臨時会・3月定例会

平成21年度予算 議案のあらまし .....	2～3
厳しくチェック 予算審査特別委員会 .....	4～5
いっぱん質問 6人が登壇 .....	6～11
請願・陳情 .....	12
臨時会 .....	13
委員会報告 .....	14～15
町民の声（翁島地区 佐賀彰子） .....	16

（川桁保育所 入所式）

No.114

平成21年5月10日  
発行：福島県猪苗代町議会



# 対前年比13%減!

## 施政方針説明

### 今年度の重点事項

#### ●行財政対策について

財政が不足する中、人件費の抑制や給費金の適正化等をはじめ、あらゆる分野において経費の徹底した削減を図りながら行財政改革を強力に推し進めるとともに、特定受益者負担の適正化、収納率向上対策により自主財源の確保と健全な財政運営に努めます。

#### ●少子高齢化対策について

15回までの妊婦健康審査の費用負担、乳幼児、児童医療費助成事業の拡大、放課後児童クラブの利用時間の拡大など、子育て支援策の拡充を図ります。

また、特別養護老人ホーム70床の増設、新たな100床の老人保健施設の計画、介護保険料の負担軽減、後期高齢者医療保険料の軽減など、高齢者の医療福祉施策を推進します。

#### ●猪苗代町立病院について

本年度で2年目となった町立病院は、外来患者数、入院患者数とも昨年度より増加しており、地域住民の皆様から「信頼できる病院」として、引き続き良質な医療の提供に努めて参ります。

#### ●「歩いて暮らせるまちづくり」について

中心市街地活性化事業として、旧役場跡地に健康をキーワードとした拠点施設の整備に着手し、地域全体の活性化、空き店舗対策事業を積極的に実施します。

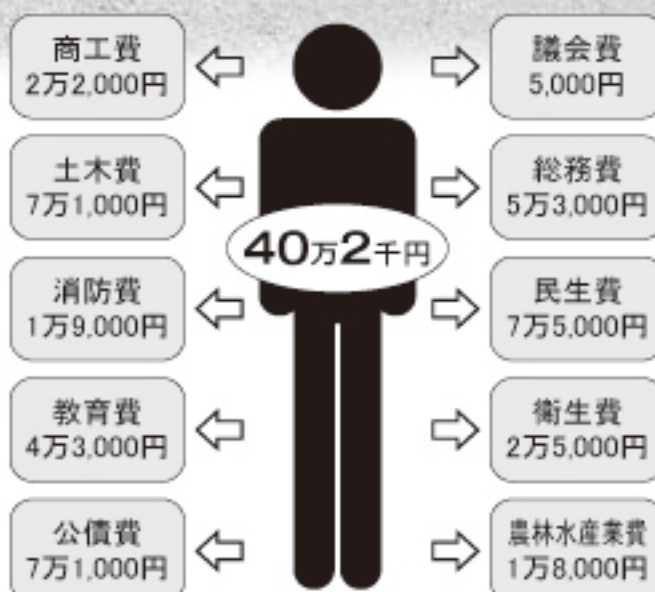
#### ●教育施設、教育環境の整備

少子化が加速する中、より適正な教育効果をあげるため、既存の幼稚園、保育所及び小中学校の適正配置について検討して参ります。

また、完成した体験交流館「学びいな」を活用した社会教育の充実、総合体育館「カメリーナ」や運動公園を活用した地域総合型スポーツの理念の実現を目指します。

(体験交流館)

### 町民一人当たりの 主な使い道(一般会計)



# 65億円で成立

## あらまし

平成21年度第2回定例会は3月10日から3月23日までの会期で開催され、町長から提出された専決処分報告、平成20年度補正予算、平成21年度予算、条例の一部改正など53議案、委員会提出議案による意見書の審議を行い、全議案を原案どおり可決しました。

また、2日間にわたって行われた一般質問には6人の議員から水環境保全対策、野生動物対策、定住化支援策、雇用問題対策、子育て支援対策などについて町当局の考えを質しました。



(猪苗代保育所)

平成21年度一般会計予算賛成多数で可決

賛成(13名) 反対(2名)

# 行財政の効率的運営を強く求める



# 3月定例会 予算審査特別委員会

**A3** 拠点整備用地を旧役場跡地とし、プロポーザル方式で指名業者から企画提案を受け基本計画にとりまとめ、具体的な実施計画を策定するための委託料を計上した。

**Q3** 歩いて暮らせる町づくり拠点施設整備計画策定委託とはどういうものか。



(旧役場跡地)



(優良堆肥製造施設)

**A4** 収入では堆肥販売300万円と汚泥受入費用600万円の計900万円、報酬の3名については、施設をフル稼働させる最低人数分を計上している。植栽工事は隣接する磐梯町との協議により植栽するもので、町道部分に植栽する。

**Q4** 優良堆肥製造施設管理費の報酬と植栽費は、経費をかけすぎでないか。



(町民バス：役場前)

**Q1** 町民バスが通っている路線で、公共交通機関の停留所がある地区では、なぜ町民バスにらせてもらえないのかとの声がある。

**A1** 町民バス市沢線の乗降エリアは、公共交通機関が通っていない地区が基本となっている。有料のバス路線と無料の町民バス路線が重なっているが、今後全町的に通学路をはじめとする交通体系の見直しを検討する。

**Q2** 猪苗代小学校児童クラブ室設置工事700万円の内容は。

**A2** 児童館は20名程度の利用者で年々減少しており、子供の目線を見ると、現在児童クラブを開設している町児童館よりも猪苗代小学校内にあった方が利用しやすい。潜在的需要も40～50名見込まれるので、国の「子供安心基金」の制度を利用し、猪苗代小学校内に児童クラブを設置するにあたり空き教室等の改修費用及び放課後の利用であるため出入口を新たに設置する改修費用を計上した。



(猪苗代町児童館)

**A5** 川桁地区にある雇用促進住宅2棟の内、町営住宅として1棟、町設住宅として1棟及び敷地用地を取得するためのもの費用を計上した。

**Q5** 町営住宅建設費の公有財産購入費5100万円の内容は。



(猪苗代町児童館)





長沼一夫 議員

Q. 猪苗代湖に流入する水質悪化が、  
2年連続で水質ランク外の要因では

A. 一つの要因に北岸のヨシがあげられる

①水環境保全対策について

【質問】猪苗代湖の水質汚染の主な要因は何か。

【答弁】湖水の中性化が進み、植物プランクトンなどの微生物が増殖しやすくなったことが原因と思われる。

【質問】水質汚染の防止策はどうされるのか伺う。

【答弁】湖水に流入する有機物や、窒素・リンなどの量を確実に削減していくことがキーポイントである。

②地球環境問題について

【質問】新エネルギーの取り組みは考えられないか。

【答弁】本町においては、平成16年度から18年度まで個人住宅の太陽光発電設備導入を支援し、1kwあたり3万円の補助金を交付したが、導入価格に比べて売電価格が安価になったので、年間2〜3件と導入が少なく現在は予算化していない。

③雇用対策について

【質問】本町の雇用概況と雇用解雇者の現状について。

【答弁】平成16年度より無料職業紹介所を開設し職員が対応している。

2月末現在72名の方から申し込みがあり、町内18名、町外28名、合計46名が就職決定した。



(湖岸清掃作業：堅田地内)

雇用解雇者については、現在本町の紹介所に登録されている方は122名であるが失業者の実数は把握することはできない。

【質問】行政の失業率に対する、救済策についての考えを伺う。

【答弁】平成21年度当初予算に計上した、国のふるさと雇用再生特別交付金事業、緊急雇用創出基金事業を有効に活用し、雇用の創出を図る。

【質問】企業誘致予定であった旭乳業販売へ就職した町内の方々のその後は。

【答弁】5名の方が、郡山へ通勤されていたが、昨年12月に解雇となった。町の相談窓口では、精神的な面も含めた相談にのりたい。

①町の農業をどうしていくか

【質問】農業者が誇りと意欲を持って農業にいまそむ環境づくりへの取り組みは。

【答弁】農業者の声を聞きながら、国・県の支援制度と町農業施策との連携を図りながら強い農業づくりを目指していく。

【質問】食糧自給率向上対策に、小・中学校の米飯給食を現在の週3回から4回にすることはいかがか。

【答弁】給食費の負担増の問題などがあるが、今後、実施回数増に向け、その方法等について検討して参りたい。

【質問】食糧自給率をアップさせるための取り組みは。

【答弁】食糧自給率をアップさせるには、生産者と消費者が共に意識しなければならぬので、意識の高揚を図って参りたい。

【質問】水田等有効活用促進交付金を活用させるために、転作拡大や調整水田への米粉・飼料用米の作付普及に向け、21年度の現状と今後の取り組みについて。

【答弁】買取価格が不確実であったり、制度そのものに不安要素がある。しかし、的確な情報提供と国・県の動向、関係機関の取り組みの推移を見ながら取り組んでいく。

②スポーツ振興について

【質問】運動公園のトラック及びクロスカントリー競技大会コース整備の内容は。

【答弁】トラックは、表層の入替え、不陸整正後にコースラインテープの張替えを行い、クロスカントリーコースは、全長5kmのコースを整備する計画です。

【質問】青少年健全育成にむけた指導体制はどの様に進めていくのか。

【答弁】スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブ、学校の部活動等が連携を深め、心豊かな青少年の育成をめざした活動への取り組みに支援を図って参りたい。



(町民大運動会：運動公園)





渡辺 二公 議員

Q. 猿の被害地区に対する救済策と指導は

A. 猿が人里におりる段階で、人的威嚇を行う「接近警戒システム」を実施していく

①野生動物の被害と対策について

【質問】近年、野生動物の被害が多く特に猿の被害が多いが、個体数や群別の行動など把握しているか。

【答弁】平成16年調査では大倉川群60、80、若宮100、30、酸川群60、70、小田、樋ノ口から長瀬三郷にかけて20、30頭存在していると考えられる。

対策として餌の放置禁止、駆除隊、花火等による追払い、バトロール実施、鳥獣被害防止計画を策定し、農作物の被害防止と人と野生動物の棲み分けを図る。

【質問】ハクビシンなどの被害の状況と対応は。

【答弁】延べ36匹の出没情報有り。箱わなにより9匹捕獲。空家、小屋等への侵入防止策、餌の放置禁止、箱わなの増設、防獣ネット、電気柵の設置等実施により被害防止に努めて参ります。

【質問】カワウの魚類への被害防止対策は。

【答弁】平成16年より有害鳥獣駆除隊による捕獲を実施。本年度は120羽捕獲。生息数は平成18年調査約1200羽、平成20年約800羽、駆除の効果もあるが他へ移ったのが大きな要因と考えられる。

県全体で許可捕獲上限が800羽であり、多額の費用がかかるので県等と協議をして検討していきたい。

【質問】ブルーギルなど外来魚の被害状況と対策は。



(ハクビシン：参考資料)

②定住化支援について

【質問】町の定住化プランや支援策の拡充予定は。

【答弁】当面、定住化促進プランを実施。平成21年度雇用促進住宅を町で購入し定住希望者に一定期間提供して地元との交流を通じ定住を支援していく。

①町内での雇用問題と対策について

【質問】解雇とリストラで仕事と居住を失う人が後を絶ちませんが、町内の派遣切りと雇止めの実態と対策はどうなっているのか伺います。

【答弁】本町の無料職業紹介所の聞き取りでは派遣切りと雇止めの方がそれぞれ2、3名程おります。

平成21年度予算に国のふるさと雇用特別事業と緊急雇用創出事業を速やかに実施していく。

尚、町でも一事業所としてワークシェアリングを実施し、雇用確保に努めている。

②デマンド交通について

【質問】6月定例議会において「検討する」との答弁でありましたが、平成21年度当初予算における措置と今後の状況について伺います。

【答弁】デマンド交通の導入は定期バスや観光客などの未登録者が利用できない等の課題がある。

町、県公安委員会、住民道路管理者による地域公共交通協議会により見直しをする。

③母子家庭について

【質問】母子家庭の実態と支援策を伺います。

【答弁】平成21年3月1日現在で母子家庭は140世帯で父母のいない家庭は4世帯です。又父子家庭は33世帯です。

町では「一人親家庭医療費の助成に関する条例」を定めており、18歳未満の児童のいる配偶者のいない母親、又は父親と父母のいない児童には、医療機関窓口

で支払う自己負担分1,000円を超えた場合1,000円を超えた金額が給付されます。この助成は登録が必要です。

【答弁】児童扶養手当は父母が離婚するなどして、父親の養育を受けられない母子家庭の児童に対して町に申請して、県が資格審査を行い手当を支給するものです。町から送付される届出書と事由を証明する書類を町に提出する必要があります。



(無料職業紹介所：町役場内)





## 大橋 清喜 議員

Q. 特別職の報酬は削減すべきと考えるが

A. 平成11年度から町長30%、副町長、教育長が15%の減額を実施している

【質問】道の駅の設置として志田浜としたが現在どのようになっているか今後どのように推進するのか伺いたい。

【答弁】平成20年度に「道の駅整備検討会議」を立ち上げ検討した結果、候補地として志田浜地区整備方法については国と町の一体型による整備の方針が出された。これを受けて郡山国道事務所に出向き候補地と整備方法について町の方針を

### ②道の駅について

【質問】特別職の報酬を削減すべきと考えるが。

【答弁】平成11年度から町長が30%、副町長・教育長が15%の減額を実施している。

【質問】町職員の給与は民間より高水準で町財政再建のためにも削減すべきと考えるが。

【答弁】平成19年1月から人事院の勧告内容にもとづき、給与引き下げの構造改善を実施しており民間レベルであると考えている。減額については平成20年4月から給料額12ヶ月に期末、勤勉手当の合計額の1.5%をそれぞれ6月と12月の期末手当本来額から合わせて3%減額している。



(志田浜地区)

伝え、今後の進め方について協議を行った。用地の確保、防風保安林の解除、自然公園法の規制など何点かの条件を提示され、これをクリアできないうちは協議に入ることは出来ない。防風保安林の解除については会津農林事務所と協議を行った結果、解除と同程度の防風機能を有する構築物の設置が条件との指導を受け、具体的な解除面積、箇所、代替え構築物

の規模等、計画の詳細について提示されないうちは正式な回答は出せないということである。郡山国道事務所、会津農林事務所から指摘の条件等を志田浜事業組合で検討していたという。

## 渡辺 真一郎 議員

Q. 異動直後、十分な説明ができない職員がいるが、引き継ぎに問題はないのか

A. 引き継ぎではなく職員の資質の問題であり、研修を重ねる



### ①地方債の内容について

【質問】建設事業にはどのような地方債を発行しているか。

【答弁】地方債の対象事業は一般公共事業、公営住宅建設事業、一般単独事業、辺地対策事業、公営企業債。

【質問】将来交付税措置がある起債と内容は。

【答弁】一般公共事業債は充当率60%で嵩上げ分の元利償還が、辺地対策事業債は100%で元利償還の80%、臨時財政対策債は元利償還相当額が、公営企業債は100%で一部が後年度に交付税措置等地方債の種類や起債した年度によって算入率が変わり単純に積算することは困難です。

【質問】過去10年間で支払った地方債の利息、金利は。

【答弁】平成10年から19年で22億5千4百万円で、最も高いので6.6%です。

### ②職員の人事異動時の引き継ぎについて

【質問】異動した直後に十分な説明ができない事例がある。引き継ぎに問題はないか。

【答弁】引き継ぎの問題ではなく職員の資質の問題で、職員として不適切な行為であり、的確に対応できるよう職員研修を重ねて参ります。

### ③用途地域の見直しについて

【質問】都市計画道路、地区計画の見直しはいつか。

【答弁】都市計画道路は22年度末までに、地区計画は平成8年に名古屋町地区を決定しており、今後は南部土地地区画事業を中止に向けて説明会等を行っている。

土地地区画整理事業に代わる新たなまちづくりのため地区計画を定めたいと考えている。

【質問】都市計画道路の優先順位は。

【答弁】猪苗代中央線と千代田線。



(千代田線予定地：北高野地内)



第1回  
臨時議会  
2月20日開催

◆ 平成20年度一般会計補正予算（第6号）  
5億705万9千円を追加し、総額を 81億2888万4千円とする

◆ 国の補助金による「定額給付金事業」  
「地域活性化・生活対策臨時交付金」  
「子育て応援特別手当」等の予算を審議

主 な 事 業 費

○定額金給付事業	2億7818万1千円増額
○子育て応援特別交付金事業	999万1千円増額
○火葬炉の改修	1470万円
○葦の粉碎機、ピーチクリーナー購入	1690万円増額
○そば汎用コンバイン購入	1970万円増額
○防雪柵の購入	1200万円増額
○町道改良工事	2370万円増額
○消防ポンプ車購入	2100万円増額
○防災行政無線親局更新・改修事業	3100万円増額
○旧市沢小学校校舎、体育館・旧月輪小学校体育館解体事業	2440万円増額
○公民館バス購入	1700万円増額

主 な 質 疑

Q2 水環境保全対策費の備品購入は、葦の粉碎機とピーチクリーナーという説明だが、会津若松、郡山との話し合いはあったのか。

A2 事業費を計上するにあたり、国からの指示により1週間程度で計画をあげなければならない状況で、協議は行なっていない。今後2市と協議をしながら、3市町で作っている連絡会の中で、維持管理等について対応していただくよう協議を進めていく。

Q1 歳入で補助率10/10の国庫補助金が4億4805万9千円もありながら、基金繰入金5900万円も計上するのはなぜか。

A1 計上している事業費は、設計額であるため、入札等予算執行時には一般財源が圧縮できると考えている。補助金の交付限度額を下回った場合について、国から交付を受けられないこともあるため、それらを防止するための措置である。

フリースタイルスキー 世界選手権猪苗代大会  
町議会も雪だるまづくりに参加



あなたの声を 請願  
審議しました!! 陳情

採択した請願

雇用を守る緊急対策及び労働法制の改正を求める意見書提出の請願について  
提出者：日本労働組合総連合会福島県連合会 耶麻・喜多方地区連合  
議長 秋山光晴  
紹介議員：渡辺二公

「公共工事における賃金等確保法」（仮称）の制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書の提出を求める請願

提出者：全建総連会津  
理事長 星次男  
紹介議員：五十嵐ミエ子

食料自給率向上に向けた全町的取組みに関する請願について

提出者：あいづ農業協同組合  
代表理事組合長 庄條徳一  
紹介議員：山田長平

不採択となった請願

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願について

提出者：日本労働組合総連合会福島県連合会 耶麻・喜多方地区連合  
議長 秋山光晴  
紹介議員：渡辺二公

「嫡出推定」に関する民法改正と救済対象の拡大を求める意見書の提出について

提出者：I女性会議猪苗代班  
代表 藤原澄子  
紹介議員：渡辺真一郎



# 所管事務を調査しました！ 常任委員会レポート



## ～教育環境の再編成は～

### 文教厚生常任委員会

現在、当町では少子化が進み、児童生徒を取り巻く教育環境が大きく変化していることから、早急な対応が求められている。

翁島小学校の児童数は82名で、児童の減少から体育の授業は2学年で一緒に実施している。千里小学校は児童数189名で1クラスが20名程度で理想的な人数となっており、特別支援を要する児童の指導も行っている。緑小学校は旧月輪小と旧山湯小の統合により児童数は97名で各学年1クラスとなっており、体育の授業では競技によって2学年合同で実施している。

現場の視察を踏まえ、各委員からは①翁島小と緑小など学校によって教育環境に著しい

格差があること、②通学路の歩道の除雪が十分でないこと、③今後の学校施設のあり方や統合問題は、地域の声をもっと反映させなければならないこと、などの意見が出された。

今回の調査では、あきらかに学校間の環境の差や児童数の減少による学年合同での授業など変則的なカリキュラムがみられ、児童が中学、高校への進学時の弊害が危惧される。

教育は数の原理だけで割り切ることはできないが、今後更に教師や保護者、地域が児童一人一人の個性と多様性を認め、育みながら先を見越した教育環境の再編成の計画策定と、それらの町民に対する説明が早期に実施されるべきと考える。



## ～空き家の実態と防犯対策は～

### 総務常任委員会



(空き店舗)

町内の空き家の状況について調査を行い、町が各行政区に問合せた結果、1月15日現在で住宅・店舗合わせて189軒の空き家がある報告を受け、防犯上や観光地としての景観上も管理が不十分であれば問題があるため、正確な空き家の状況を把握する必要があるため、地域の方に巡回をお願いすること、所有者へ連絡してもらうことなどの対策が必要であるとの意見が出された。

事故が起きてからでは遅いので、空き家の取壊しが可能な対策を講ずる上でも、防犯上や景観上の不良状態を排除する、将来を見据えた「(仮称)安全安心なまちづくり条例」等の制定を検討する必要があると思われる。

## ～体験学習交流館の進捗状況は～

### 経済建設常任委員会

建設中の体験学習交流館建築工事の進捗状況及び今後の運営について調査し、外溝工事については平成21年度への繰越事業になること、生涯学習課及び公民館が移転し、直営で施設を管理する予定であることなどの説明を受けた。

今後の体験学習交流館の管理運営にあたっては、利活用が大きな課題となり、町民の文化交流の場としてのみならず、憩いの場として末永く町民に愛される施設としての運営形態を目指すべきであるとの意見が出された。

多額の建設投資に加え、今後の管理運営費用もかさむことから、教育文化のよりどころとして利用率の向上を図る必要があると思われる。



(体験交流館)



## 町民の声



翁島地区  
佐賀 彰 子

みんな、こぞつて議会傍聴  
に行ってみましょう。

いつもは議会だよりを読む立場の私が、先日商工会女性部で議会傍聴の機会があり、私たちの町の現在と、今後の動向を知るには格好のチャンスと思い参加いたしました。

初めて見た議場は、足元のじゅうたんとか向かい合ったひな壇に着席された、特別な雰囲気私まで緊張いたしました。

議題は議員の方々の質疑と行政側の受け答えに、専門用語の熱弁があったり、もう一步踏み込んだ内容であって欲しいと歯がゆい思いがしたりと。また、そのまま流され、消えてしまう案件もあるか

も、などと。そして国会のようなヤジが飛ぶこともなく、お互いの話を聴いてもらえる模様に安心しました。

先日のフリースタイル世界選手権大会は、上村愛子選手の金メダルにより当地の知名度もアップし、大成功に開催され不景気の話も吹き飛んだイベントでした。それに私たちの町は山紫水明の風土をいただき、世界に誇る野口英世博士の生まれ故郷です。それを活かす少しでも住み良く魅力ある町になるには、自分達が選んだ町民の声の代表である議員の方々に、立候補時のマニフェストを声を大にして熱血漢で語り続け、行政に反映させていたいただきたいのです。私達も未来を守り育ていく子供たちの為に、他人や行政任せでなく、目の覚めるようなアイデアを持ち寄り、たとえ微力でも町民一人一人の力がエネルギーとなつて、行政の追い風になり活気ある町にしたいものです。魅力ある大好きな町であるよう、議会傍聴をし、発展を応援するのも私達町民の役割だと思います。



## 編集後記

桜の花が目に見え鮮やかな季節となりました。3月の定例議会を終え、町の実施計画と予算が決まり、21年度がスタートしました。今回から一般質問のページを一人1ページにしてみました。今年度の目標は、いかに早くみなさんに議会だよりを届けられるかが大きな課題です。わたしたちも新聞記者になつたつもりで一生懸命努力していきたいと思ひます。一人でも多くの方々の目に留まり町の活性化に貢献できれば幸いです。

皆さんのご意見をお寄せくださることをお待ちしております。

委員 五十嵐ミエ子

## 議会広報編集特別委員会

委員長 渡部 英一  
副委員長 佐藤 光幸  
委員 大橋 清喜  
委員 渡辺 真一郎  
委員 五十嵐ミエ子  
委員 渡辺 二公  
議長 関沢 和人